

令和4年度学校評価報告書

令和5年3月30日

北海道教育委員会教育長 様

北海道おといねっぶ美術工芸高等学校 校長

池原 智宏 印

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

全 日 制	
(1) 基本的な生活習慣の確立と学習習慣の定着を目指す。 (2) 確かな技術技能の定着をはかり、生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。 (3) 学校生活・寄宿舎生活をとおして、豊かな心と社会性を育成する生徒指導を推進する。 (4) 3年間を見通したキャリア教育を推進し、自己実現に向かい取り組む姿勢を身につけさせる。 (5) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し実践や研修を推進する。	

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育目標	学校教育目標の実現に向けた取り組みが行われ、教職員の共通理解も図られた。 本校の課題の確認、学校課題への教職員の共通理解が図られ取組がなされた。職員評価制度における面談・評価票の活用によって課題解決の共通理解も図られた。 教育の質の向上を目指し、各種研修を積極的に推進した結果、各教員の資質向上に繋がる成果をあげた。授業力向上対策については個々の努力に頼る面が多く組織的な取組が課題である。	教育目標の達成に向けての学校の取組を評価する。
改善方策	管理職と教職員間とのコミュニケーションを引き続き推進していく。学校課題を点検する年二回の反省会議を好機と捉え、課題解決に向けて全体での体制で取り組んでいく。あらゆる機会を活用して、共通理解を図っていく。	
学習指導	「主体的・協働的な深い学び」を目指した授業改善・評価改善が求められる。進学志望者の増加で、基礎学力の向上、学習習慣の定着を、朝学習や放課後の指導によってその成果がみられた。英語・漢字検定の取得では、上級への受験者が増加し成果をあげている。教科の工夫により部活動との両立をさせながら学習への取組がなされている。	学習習慣の定着、学習意欲・基礎学力の向上の取組がなされている。 補習・資格取得に積極的に取り組んでいる。 生徒のやる気を導く仕組づくり、雰囲気づくりを引き続き工夫してもらいたい。
改善方策	学習習慣の確立を目指した取組、生徒の変化や現況を捉えた授業改善の取組、学力向上に向けた取組を組織的に行っていく。新学習指導要領の着実な実施に向けて、研修会等で問題点を解決し、共通理解を図ながら進めて行く。	
進路指導	入学時から卒業後の進路を意識したキャリア教育を推進している。常に学習内容と卒業後の生き方・あり方を関連づけて考えさせる投げかけや、各種説明会等を実施し成果をあげた。その結果、今年度も高い進路決定率を維持することができた。インターンシップ等の実践的な取組は、定着しつつある。	進学者希望者への組織的な対応をお願いする。 進路決定においては高い評価を得た。
改善方策	進学希望者が増加しているので、大学受験への対応についても手厚い対策を今後も継続していく。就職希望者には、試験へのサポート体制を整える。進路指導を学校全体で行えるよう体制づくりをしていく。	

生徒指導	<p>教職員、寮、家庭との連携のもと、いじめ防止基本方針通りに実施できた。未然防止・早期発見に向けた取組は継続実施する。</p> <p>生徒の抱える問題が多様化しており、従来の生徒への接し方だけではなく、生徒の心情を細かく把握しながら、生徒に寄り添いながら共に課題解決していく方法等も考えていく必要がある。</p>	<p>スマホやネットのトラブル防止の情報は、機会あるたびに発信してほしい。家庭での指導も大変重要であり、保護者への協力も必要である。</p>
改善方策	<p>生徒の小さな変化も見逃さないよう、生徒観察、生徒理解を一層深めていく。いじめは絶対にゆるされないことを機会があるごとに訴える取組を継続する。</p> <p>生徒指導部を中心に、学校全体(教職員・寮)で組織的対応となるよう改善を進めていく。今後も個別支援体制を実情に合わせて充実を図っていくため、スクールカウンセラー等の有効活用を図り、心のサポートを充実させていく。</p>	
健康・安全指導	<p>おおむね目標を達成できているが、特に実習中の安全管理に関しては、今後も細心の注意を払い、生徒への的確な指導が不可欠である。学校での安全管理への意識づけが基本となり、将来生徒が現場に入った際の安全意識・プロ意識につながっていくことを目指したい。</p>	<p>感染症対策を常に意識して生活している経験が、社会の安全基盤に大きく貢献していることを学ぶことができたのではないかな。</p>
改善方策	<p>新型コロナウイルス感染症対策については、特に寮での対応マニュアルが整備され、発生時にも対応ができた。常に対応マニュアルの改善整備を行う。</p> <p>生徒が健康・安全について意識することは、人生を歩む上で非常に重要な意味を持っている。学校でのあらゆる教育活動の中で、これらの意識づけをぜひ行いたい。また教職員の健康面への配慮も重要であり、ストレスチェックの結果等も鑑みながら、組織的に対応したい。</p>	
学校・組織運営	<p>法令遵守の意識は高く、服務規律の徹底は一定程度図られた。</p> <p>課題研究や部活動のなど、本校の教育活動の成果を更に積極的に発信していく必要がある。地域を支える人材として、自己肯定感や地域への愛着を高めていく取組が必要である。</p> <p>HPの適時更新を進め、保護者への学校活動の様子を積極的に発信するとともに、学校PRに努める。保護者・地域への発信力を高め、学校理解・信頼度のさらなる向上につなげる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症によりPTA活動等に支障が出たが、できる範囲での実施を模索しながら、進めて行く。</p>	<p>HPの更新が昨年より増加した報告を受け、継続して情報発信をしてほしい。</p> <p>コロナ禍の中、地域との交流に制限があるが、できる範囲で実施してもらいたい。</p>
改善方策	<p>美術工芸高校として、学校経営シラバスの充実、実効的な学校評価システムの構築、校務運営会議の機能強化による管理職と教職員の課題の共有化を図るなど、組織として課題解決に取り組む学校づくりを引き続き推進する。</p> <p>HPの適時更新を進め、生徒や保護者へのPRを強化するとともに、魅力ある学校だよりを計画的に発行し、保護者・地域への発信力を高め、学校理解・信頼度のさらなる向上につなげる。</p>	
公表方法	<p>本校ホームページ上に公開するとともに、学校評議員、PTA役員等に配布する。</p>	

3 添付資料

- ・保護者・生徒アンケート集計
- ・自己評価書
- ・学校関係者評価書